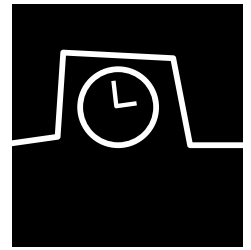


廃校活用
はじまる



廃校×アイデア＝南丹市地域活性化センター

(左から)指定管理者の吉富・廣瀬会長、大野・山口会長
新庄・松本会長、五ヶ荘・久世会長



南丹市地域活性化センターオープン

地域の元気ここからはじまる

平成27年度末までに閉校となつた11校の小学校のうち、新庄、吉富、五ヶ荘、大野の4つの小学校跡施設が、4月から地域の新しい拠点「南丹市地域活性化センター」(以下「センター」として再出発しました。

小学校跡施設は、具体的な利活用が始まるまで、市が管理し、限定的に使用しています。が、4つのセンターは、これまでに利活用を検討してこられた地元団体を指定管理者として、管理運営が始まります。校舎、体育館、運動場は、市内外の方を問わず、また営利目的でも、1時間単位や月、年単位(月、年貸しは教室のみ)で利用いただくことができ、それぞれの施設で利用申し込みを受け付けます。

教室は、学校の雰囲気味わいながら、会議、サロン活動、

陶芸や料理などの各種教室、音楽の練習、絵画などの展示、映画の上映会、事務所としての利用など、さまざまな目的での活用が可能です。

体育館や運動場は、これまでも、結婚式やドローン(無人航空機)の講習会、校舎全体を使った写真の展示会など、大規模なイベントで活用された例があり、センターの利用を広くPRすること、イベントでの活用増も期待されます。

今後、センターを地域の皆さんが日々集う場所や活用する方々と交流が生まれる場所、アイデアを形にする場所に育てる挑戦が地域ぐるみで始まります。そして、この取り組みが、地域の魅力づくり、地域の元気に繋がっていくことが期待されます。